

令和元年度後期修了式・終業式 校長メッセージ

本日で、令和元年度が終了します。令和最初の中学校の修了式・高校の終業式、高校のハンドボール部女子の全国選抜大会出場に対する壮行式や表彰披露を行う予定でした。しかしながら、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、岡山県では感染者は確認されていませんが、生徒の皆さんの健康・安全の確保や感染拡大の防止の観点からすべて中止としました。年度の終わりですので、今年度を振り返り、私からメッセージを贈りたいと思います。

今年度は、夏に台風で第2体育館の屋根の一部が吹き飛ばすなどの被害がありました。体育館については、現在まだ工事中で修復が完成していません。床の工事も合わせると年度をまたがった修復となります。授業や部活動等に支障がでました。関係の先生方、生徒の皆さんには大変申し訳なく思います。一方で、ハンドボール部を始め、多くの部活動等で全国大会に出場など、生徒の皆さんの活躍の多かった年でもありました。校長として大変頼もしく、誇らしく思っています。

年度末なので、年度の初めに言ったことを確認したいと思います。1年生は、それぞれの入学式で、学習や課外活動など、中学校生活、高校生活を送る上で充実してほしいことを数点述べました。2年生には、前期の始業式で、次の2点を申し上げました。

1つは、「すべてのものには時季がある」ということで、人間が成長していく上では、いつ、どんなことをしないといけないかが人それぞれに決まっているということ、その時々で、自分は何をしないといけないのか、考えてほしいと言いました。

もう1つは、「仁を問う。子曰く、人を愛す。」これは、人間社会は、人と人とでなり立っている。お互いを思いやり愛することが大切で、特に、年度当初だったので、新しい出会いの中で、人とのつきあいを考えてほしいと言いました。

皆さん、この1年を振り返ってみてどうだったでしょうか。

さて、中学校・高校の3年生は、それぞれ高校は1日、中学校は14日に卒業証書授与式を行いました。来賓の方々のご臨席はなく、在校生の皆さんも送辞を読んでもらった生徒以外の出席はあ

りませんでした。厳粛な雰囲気の中、心のこもった式典になったと思います。3年生の先輩は、皆、立派に卒業していきました。卒業生の答辞の中に在校生の皆さんへのメッセージがありましたので、中学校・高校とも、それぞれの登校日に印刷してお渡ししています。先輩の思いや意思を受け継いでほしいと思います。今度は、皆さんの番です。来年、再来年の自分の姿を思い描いてください。

来年度は、今の2年生は、最高学年の3年生になり、学校をリードしていくことが求められます。1年生は、中堅の2年生となり、学校を支えることとなります。来月の8日には、中学校は120名、高校は240名の新生が新たに仲間入りする予定です。皆さん、進級する、後輩ができる、後輩が増える、その自覚を持ってほしいと思います。

色々申しあげましたが、本当は、皆さんが元気に過ごしているのかが一番気になっています。長い間、皆さんの元気な顔、姿を見ていません。皆さんも、早く学校に来て、友人や先生に会いたいと思っています。先生方も同じ気持ちです。

幸い、我が天城には、鉄軒精神があります。質実剛健・勤勉力行・不撓不屈の精神です。倉敷天城中学校・高校の生徒の皆さん、こういう困難な時こそ、建学の精神に立ち戻り、鉄軒精神を発揮して、この難局を乗り切ろうではありませんか。

さて、明日から春休みになりますが、今までの対応を当面の間継続するように求められています。つまり、補習や部活動はできません。いつからできるかや今後の対応については、中高のホームページでお知らせすることになっていますので、こまめにチェックしてください。次に全員がそろうのは、4月7日の新任式・始業式の予定です。

令和元年度の終わりにあたり、皆さんの元気な姿を思い描きながら、メッセージを贈り、再会を待ちたいと思います。

令和2年3月19日

岡山県立倉敷天城中学校・高等学校 校長 白神 敬祐